

多摩市の社会教育施設のあり方を 考える 市民と市議会議員との対話集会

市民企画講座（永山公民館）

公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等々——
私たちの暮らしを 楽しく、豊かにしてくれる公共施設の
あり方を みんなで考えていきましょう。



2017年10月21日（日）
多摩市の社会教育を考える会
荒井容子



第1部 多摩市の社会教育施設のあり方

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」と
その更新に至る3年間をふりかえる

1 社会教育施設のあり方をめぐる 近年の諸問題と検討課題（論点）

— 第1次アンケートに対する
市議会議員の方々からの回答もふまえて —

多摩市の社会教育を考える会
荒井容子

第1次アンケートで確認されたこと

社会教育施設は大事。

しかし、財政問題が . . .

公共施設は多すぎる。

←人口減少 少子高齢化

老朽化

→整備にお金がかかる。

➡それだけ賄う お金がない。

本当か？

公共施設再編への国の政策

国の推進策

2013年 インフラ長寿命化計画

← 『朽ちるインフラ』

2014年 公共施設等総合計画の策定にあたっての
指針

さかのぼればもっと前から

公共政策の民間委託

公共サービスを市場にゆだねる。

規制緩和。

公共施設再編問題の中で
翻弄される諸施設

そして 社会教育施設も！！

改めて考えたいこと 1

「床面積」減らす？

単純な数字にごまかされていない？

単純な説明に「しかたない」と思わされていない？

単純な対立構造にごまかされていない？

参照 配布資料 拙稿

改めて考えてみたいこと 2

「社会教育施設は大事。」
ということの意味。

私たちは何を大事にするのか。

そして**考えたい！！**

「学ぶ」こと、「楽しむ」こと
「豊かに」くらすこと

の意味